

群馬県公立大学法人

平成30年度業務実績に関する評価結果

令和元年9月

群馬県公立大学法人評価委員会

# 目次

はじめに	1
<b>I 全体評価</b>	<b>3</b>
<b>II 項目別評価</b>	<b>4</b>
第1 教育研究等の質の向上に関する目標	4
1 群馬県立女子大学	4
2 群馬県立県民健康科学大学	6
第2 大学間の連携に関する目標	7
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標	7
第4 財務内容の改善に関する目標	8
第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	9
第6 その他業務運営に関する重要目標	9
<b>資料</b>	<b>11</b>
○ 群馬県公立大学法人業務実績評価実施要領	11
○ 群馬県公立大学法人評価委員会 委員名簿	15

# はじめに

群馬県公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第1項の規定により、群馬県公立大学法人（以下「法人」という。）の平成30年度の業務の実績について、以下のとおり評価を行った。

## 1 評価方針

- （1）大学の教育研究の特性及び大学の自主性や自立性に配慮しつつ、法人が適正かつ効率的に運営されるよう、法人の業務運営の改善や向上に資するものとする。
- （2）法人運営の透明性の確保に資するよう、法人の各事業年度の業務運営に関する計画（以下「年度計画」という。）の進捗状況や中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）の達成に向けた取組の成果を明確に評価するものとする。
- （3）法人がより魅力ある大学とするために実施する特色ある取組や工夫に対して、積極的に評価を行うものとする。

## 2 評価方法

評価は、「群馬県公立大学法人業務実績評価実施要領」に基づき、全体評価及び項目別評価により行った。

### （1）全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務実績の全体について総合的に評価を行った。

### （2）項目別評価

年度計画に定めた小項目ごとに法人が行った自己評価の内容を検証し、評価項目ごとに5段階で評価を行った。

## 凡例

### (1) 法人による自己評価

評価区分	評価内容
IV	年度計画を上回って実施している。
III	年度計画を順調に実施している。
II	年度計画を十分には実施していない。
I	年度計画を実施していない。

### (2) 評価委員会による評価

評価区分	評価内容
S	特筆すべき進行状況にある。(特に認める場合)
A	計画どおり進んでいる。(すべてⅢ～Ⅳ)
B	おおむね計画どおり進んでいる。(Ⅲ～Ⅳの割合が概ね9割以上)
C	やや遅れている。(Ⅲ～Ⅳの割合が概ね9割未満)
D	重大な改善事項がある。(特に認める場合)

## I 全体評価

**法人化に伴い、自主・自律的な運営を積極的に展開する姿勢が見られる。  
平成 30 年度における中期計画の実施状況は、計画どおりに進んでいると  
評価する。**

群馬県公立大学法人は、群馬県立女子大学及び群馬県立県民健康科学大学の 2 大学を運営する地方独立行政法人として、平成 30 年 4 月に設立された。

法人化初年度である平成 30 年度は、第一期中期計画の達成に向けて、業務運営体制の整備や外部資金の獲得などに着実に取り組まれている。また、法人化に伴い、自主・自律的な運営を積極的に展開する姿勢が見られ、法人化が良い方向に進んでいると認められる。

法人による自己評価を検証した上で行った項目別評価については、全評価項目について、「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

これを踏まえ、全体評価としては、平成 30 年度における中期計画の実施状況は、計画どおりに進んでいると評価する。

今後も法人化の利点を生かしながら、両大学においては、学長のガバナンスにより教育の内容及び実施体制の充実を図るとともに、両大学のブランドを県内外に広く発信し、本県の人材育成においてリーダーシップを発揮されることを期待する。

## Ⅱ 項目別評価

### 項目別評価結果一覧

評価項目		評価委員会による評価結果	
第1 教育研究等の質の向上に関する目標	1 群馬県立女子大学	A	計画どおり進んでいる。
	2 群馬県立県民健康科学大学	A	計画どおり進んでいる。
第2 大学間の連携に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第4 財務内容の改善に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標		A	計画どおり進んでいる。
第6 その他業務運営に関する重要目標		A	計画どおり進んでいる。

### 第1 教育研究等の質の向上に関する目標

#### 1 群馬県立女子大学

##### (1) 評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目		法人による自己評価		評価委員会による 検証結果
(1) 教育に関する 目標	ア 入学者の受入れ	Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
	イ 教育の内容	Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
	ウ 教育の実施体制	Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
	エ 学生支援	Ⅳ	年度計画を上回って実施している。	Ⅲ（年度計画を順調に実施している）が妥当
(2) 研究に関する目標		Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
(3) 地域・社会貢献に関する目標		Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左

法人が「Ⅳ（年度計画を上回って実施している）」と自己評価した「エ 学生支援」については、計画どおり進んでいるとの意見もあり、年度計画を上回っていると評価しがたいため、6つの小項目全てについて「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」が妥当であると判断した。

全ての項目がⅢ評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

## （2）高く評価する取組等

- 志願倍率 6.0 倍の実績や、地域等との連携事業件数 140 件の実績。
- PROG（専攻・専門に関わらず、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向である、ジェネリックスキルを育成するためのプログラム）の実施をはじめとして、効果を測定しながら、丁寧な指導が行われている。
- 学長による「なんでもオピニオンボックス」や「県女ミーティング」など、学生との協働による大学づくりの取組。
- 明石杯高校生英語スピーチコンテストをはじめ、地域の初等中等教育の充実に貢献している。

## （3）評価に当たっての意見等

- 県内出身者の受入割合の増加が望まれる。
- 国際コミュニケーション研究科の入学受入れに今後の努力が必要である。
- 英語運用能力の実績値 40.2%を目標値 60%に近づけるための努力が必要である。
- 学会やコンベンション等を開催し、学生が積極的に参加していくことが望まれる。
- 出口支援である就職支援の充実が望まれる。
- 県内就職率の向上が望まれる。
- 東京都心部や大都市圏に存立する他の女子大学に比しても、本学の教育レベルが高いことをあらためて県内外に広くアピールするべきで、広報の体制強化が必要である。
- 受益者である在学生及び卒業生、さらに卒業生の就職先企業等から本学の運営上有益となる意見や情報を得るため、アンケート調査などを実施すべきと考える。

## 2 群馬県立県民健康科学大学

### (1) 評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目		法人による自己評価		評価委員会による 検証結果
(2) 教育に関する 目標	ア 入学者の受入れ	Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
	イ 教育の内容	Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
	ウ 教育の実施体制	Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
	エ 学生支援	Ⅳ	年度計画を上回って実施している。	同左
(2) 研究に関する目標		Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	同左
(3) 地域・社会貢献に関する目標		Ⅳ	年度計画を上回って実施している。	同左

6つの小項目について、2項目が「Ⅳ（年度計画を上回って実施している）」、4項目が「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」とした法人の自己評価は妥当であると判断した。

全ての項目がⅣ又はⅢ評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

### (2) 高く評価する取組等

- 学生の授業満足度の高さ。国家資格の合格率も目標値に到達していないが、全国の平均の合格率と比較しても高い実績である。
- 学生の地域貢献活動や国際交流活動の支援が行われている。
- 委員委嘱件数や地域等の連携事業件数が目標値を大きく上回っている。
- 看護師特定行為研修の実施に向けた情報収集、看護学教員養成課程による看護学教員の輩出、文科省事業「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン」に取り組む等、高度な医療技術を有する人材を育成している。

### (3) 評価に当たっての意見等

- 専門性の高い大学であるため、目的意識・質の高い入学者の受け入れが期待される。
- 研究費の配分においては、より実践的、効果的な研究に重点的に配分するよう考慮されたい。
- 看護師特定行為研修の確実な実施を期待する。
- 健康づくり推進に関する包括協定を締結している榛東村と共同研究等に取り組んでいるが、そこで得たノウハウを他市町村とも活用していくべきと考える。
- 診療放射線学部で使用する高額な画像診断装置に関しては、県内の医療機関が保有する設備を、夜間・休日に利用するなどの連携を図ることで、直接保有のランニングコストの削減に



資すると思われる。また、医療機関に在籍する高度で専門的な知識・技術を有する診療放射線技師との連携により、学術的なアプローチにも貢献できると期待される。

## 第2 大学間の連携に関する目標

### (1) 評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価		評価委員会による 検証結果
大学間の連携に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左

法人が「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は妥当であると判断し、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

### (2) 高く評価する取組等

○県内公立4大学の学長会議を開催し、意見交換を実施。

### (3) 評価に当たっての意見等

○法人内の連携をより強化し、県公立大学法人としてリーダーシップを取ってほしい。

○さらなる効率化を図ることによって、円滑かつ柔軟な連携体制の構築を期す。

○教育内容の異なる大学の連携は、困難も多々あると思われるが、さらなる充実が望まれる。

○公立4大学学長会議は今後も継続的な開催が期待される。

## 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

### (1) 評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価		評価委員会による 検証結果
1 組織運営の改善に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左
2 人事の適正化に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左
3 効率的・合理的な業務執行に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左

3つの小項目について、法人が「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は妥当であると判断した。

全ての項目がⅢ評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

## （２）高く評価する取組等

○法人化1年目であり手探りの部分もある中、効率的・合理的な業務執行が積極的に行われていることが随所に見て取れる。

## （３）評価に当たっての意見等

○プロパー職員の導入は法人化の大きな利点であり、計画を立てて実行に移すべきなのではないか。

○効率的・合理的な業務執行の推進にあたっては、目標値の設定などの工夫が必要と考える。

○あらゆる面から民間レベルの業務効率化を促進するとともに、組織運営に資するPDCAサイクルを確立することが望まれる。

## 第４ 財務内容の改善に関する目標

### （１）評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価	評価委員会による検証結果
財務内容の改善に関する目標	<b>Ⅲ</b> 年度計画を順調に実施している。	同左

法人が「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は妥当であると判断し、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

## （２）高く評価する取組等

○科研費の獲得のための対策など、成果が出ている。

## （３）評価に当たっての意見等

○人件費が8割を占めるという財務状況の改善が必要ではないか。

○多面的なアプローチによりさらなる補助金の利活用を検討されたい。

○両大学の契約事務の共通化等をさらに進めることが期待される。

## 第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

### (1) 評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価		評価委員会による 検証結果
1 自己点検・評価等に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左
2 情報公開等の推進に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左

2つの小項目について、法人が「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」とした自己評価は妥当であると判断した。

全ての項目がⅢ評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

### (2) 高く評価する取組等

○外部からは大学基準協会の評価を受け、内部的には自己評価委員会を設置するなど、活動が充実している。

### (3) 評価に当たっての意見等

○自己点検・評価の結果を、教職員へ確実にフィードバックし、PDCAサイクルを確立することが望まれる。

○ホームページを活用した情報公開が伺えるが、その他の方法も広く検討されるべき。

## 第6 その他業務運営に関する重要目標

### (1) 評価結果

評価委員会による評価	<b>A</b>	計画どおり進んでいる。
------------	----------	-------------

法人による自己評価と評価委員会による検証結果

年度計画における小項目	法人による自己評価		評価委員会による 検証結果
1 施設・設備の保全・活用に関する目標	<b>Ⅳ</b>	年度計画を上回って実施している。	同左
2 安全管理に関する目標	<b>Ⅲ</b>	年度計画を順調に実施している。	同左
3 社会的責任及び法令遵守に関する目標	<b>Ⅳ</b>	年度計画を上回って実施している。	<b>Ⅲ</b> （年度計画を順調に実施している）が妥当

法人が「Ⅳ（年度計画を上回って実施している）」と自己評価した「3 社会的責任及び法令遵守に関する目標」については、概ね計画どおりであるとの意見もあり、年度計画を上回っていると評価しがたいため、3つの小項目について、1項目を「Ⅳ（年度計画を上回って実施している）」、2項目を「Ⅲ（年度計画を順調に実施している）」とすることが妥当であると判断した。

全ての項目がⅣ又はⅢ評価であるとの検証結果に基づき、年度計画の実施状況は「A（計画どおり進んでいる）」と評価した。

## （2）高く評価する取組等

- 冷暖房の改修や空調の更新など、改善が見られた。
- 限られた予算の中で最大限の目標達成の努力が伺える。
- ハラスメントの防止及びコンプライアンスの推進について、規程の整備や研修の実施等、対応が伺える。

## （3）評価に当たっての意見等

- 女子大学の施設の老朽化の課題は明らかであり、抜本的な検討が必要である。
- 女子大学では建物設備の老朽化によって、今後維持・管理費の増大が見込まれることなどから、コストを吸収し得る改修工事の実施を提案する。
- 学生がよりよい環境で学修・研究できるように限られた予算の中でその整備・充実が望まれる。

# 資料

## ○ 群馬県公立大学法人業務実績評価実施要領

平成30年10月15日  
群馬県公立大学法人評価委員会決定

### 1 趣 旨

群馬県公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が行う群馬県公立大学法人（以下「法人」という。）の業務の実績に関する評価に関し、必要な事項を定める。

### 2 評価方針

- (1) 大学の教育研究の特性及び大学の自主性や自立性に配慮しつつ、法人が適正かつ効率的に運営されるよう、法人の業務運営の改善や向上に資するものとする。
- (2) 法人運営の透明性の確保に資するよう、法人の各事業年度の業務運営に関する計画（以下「年度計画」という。）の進捗状況や中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）の達成に向けた取組の成果を明確に評価するものとする。
- (3) 法人がより魅力ある大学とするために実施する特色ある取組や工夫に対して、積極的に評価を行うものとする。

### 3 評価の種類等

評価委員会が実施する評価の種類、対象・趣旨、実施時期は、次の表のとおりとする。

種類	対象・趣旨	実施時期
(1) 事業年度 評価	各事業年度における年度計画に係る業務実績の評価 (中期目標の達成に向けた中期計画の進捗確認含む)	毎年度終了後
(2) 中間評価	中期目標期間の最後の事業年度の前々事業年度（4年目） における中期目標期間終了時（6年目）に見込まれる当該 期間における業務実績の評価	中期目標期間 4年目終了後
(3) 中期目標 期間評価	中期目標期間（6年間）における業務実績の評価	中期目標期間 終了後

### 4 評価方法

#### (1) 評価の手法

事業年度評価、中間評価及び中期目標期間評価は、それぞれ項目別評価及び全体評価により実施する。

#### ア 項目別評価

評価委員会は、年度計画又は中期計画に定めた最小の事項（以下「小項目」という。）ごとに法人が行った自己評価の内容を検証し、別紙に定めた評価の単位とする項目（以下「評価項目」という。）ごとに5段階で評価を行う。

#### イ 全体評価

評価委員会は、項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務実績の全体について総合的に評価を行う。

### (2) 項目別評価

#### ア 法人による自己評価

(ア) 法人は、年度計画又は中期計画の実施状況を小項目ごとに次の4段階で評価し、当該実施状況の評価及びその理由等を記載した業務実績報告書（以下「業務実績報告書」という。）を評価委員会に提出する。

評価区分	評価内容
Ⅳ	年度計画を上回って実施している。
Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
Ⅱ	年度計画を十分には実施していない。
Ⅰ	年度計画を実施していない。

※中間評価及び中期目標期間評価においては、「年度計画」とあるのは、「中期計画」とする。

(イ) 法人は業務実績報告書に、(ア)に掲げるもののほか、評価項目ごとに法人として特色ある取組や工夫などを記載する。

#### イ 評価委員会による法人の自己評価の検証

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書について、法人に対してヒアリング等を実施し、小項目ごとに法人が行った評価を検証する。

#### ウ 評価委員会による評価

(ア) 評価委員会は、イの検証結果に基づき、当該年度における年度計画及び中期計画の実施状況又は中期目標の達成状況を評価項目ごとに次の5段階で評価する。

#### 【事業年度評価の評価区分】

評価区分	評価内容
S	特筆すべき進行状況にある。（特に認める場合）
A	計画どおり進んでいる。（すべてⅢ～Ⅳ）
B	おおむね計画どおり進んでいる。（Ⅲ～Ⅳの割合が概ね9割以上）
C	やや遅れている。（Ⅲ～Ⅳの割合が概ね9割未満）
D	重大な改善事項がある。（特に認める場合）

#### 【中間評価及び中期目標期間評価の評価区分】

評価区分	評価内容
S	中期目標の達成状況が非常に優れている。（特に認める場合）
A	中期目標の達成状況が良好である。（すべてⅢ～Ⅳ）
B	中期目標の達成状況が概ね良好である。（Ⅲ～Ⅳの割合が概ね9割以上）
C	中期目標の達成状況が不十分である。（Ⅲ～Ⅳの割合が概ね9割未満）
D	中期目標の達成のためには重大な改善事項がある。（特に認める場合）

(イ) 中期目標期間評価のうち大学の教育研究等の質の向上に関する目標の評価は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第79条の規定により、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえて実施する。

#### (3) 全体評価

評価委員会は、(2)の項目別評価の結果を踏まえ、当該年度における中期計画の実施状況若しくは中期目標の達成状況並びに法人の業務実績の全体について、記述式により総合的に評価を行う。

## 5 評価結果

- (1) 評価委員会は、評価の結果を法人に通知する。
- (2) 項目別評価結果がB又はCの評価項目については、法人が自主的に業務運営の改善その他の所要の措置を講ずるものとする。
- (3) 項目別評価結果がDの評価項目については、評価委員会が業務運営の改善その他の勧告を行う。

## 6 業務実績報告書の提出時期

法人は、業務実績報告書を6月末日までに評価委員会に提出する。

## 7 その他

この要領は、必要に応じて改定を行う。

## 別紙 評価の単位とする項目

中期計画・年度計画項目		
評価項目	小項目	
第1 教育研究等の質の向上に関する目標	1 女子大学	(1) 教育に関する目標
		ア 入学者の受入れ
		イ 教育の内容
		ウ 教育の実施体制
		エ 学生支援
		(2) 研究に関する目標
		(3) 地域・社会貢献に関する目標
	2 県民健康科学大学	(1) 教育に関する目標
		ア 入学者の受入れ
		イ 教育の内容
		ウ 教育の実施体制
		エ 学生支援
		(2) 研究に関する目標
		(3) 地域・社会貢献に関する目標
第2 大学間の連携に関する目標	—	
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標	1 組織運営の改善に関する目標	
	2 人事の適正化に関する目標	
	3 効率的・合理的な業務執行に関する目標	
第4 財務内容の改善に関する目標	—	
第5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標	1 自己点検・評価等に関する目標	
	2 情報公開等の推進に関する目標	
第6 その他業務運営に関する重要目標	1 施設・設備の保全・活用に関する目標	
	2 安全管理に関する目標	
	3 社会的責任及び法令遵守に関する目標	



## ○ 群馬県公立大学法人評価委員会 委員名簿

任期：令和元年7月18日～令和3年7月17日

氏名	役職等	備考
大宮 登	高崎経済大学 名誉教授	委員長
鈴木 宏子	共和産業株式会社 代表取締役社長	
西松 輝高	群馬県医師会 副会長	
平田 郁美	共愛学園 副学園長	委員長職務代理
松井 理	日本公認会計士協会東京会群馬県会 幹事	

(五十音順・敬称略)